

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会
URL <http://www.j-kana.or.jp/>
E-mail info@j-kana.or.jp

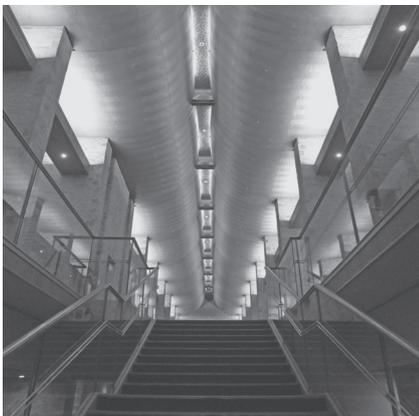
2011年
8月号

VOL.358



HP情報

- 県庁は節電のため昼休み時間を変更します
- 節電対策に関する周知への協力依頼
- 企業が発注する工事における建設企業の節電対策への配慮について



目次

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ① 建築探訪 | ⑪ 阪急交通社との提携ツアー実施報告 |
| ③④ 今我々にできることは | ⑫ シリーズ建築Q&A |
| ⑤ 会員建築作品紹介 | ⑬ 新入会員紹介 |
| ⑥ シリーズ グローバリゼーションの世界をめざして | 旅のクイズ |
| ⑦ シリーズ ぶらり街並み散策 | ⑭ 事務局便り |
| ⑧ 歴史的建造物を訪れて | 編集後記 |
| ⑩ 合同委員会報告 | |
| 行政レポート | |

被災された単位会の仲間へ全力の応援を!!

箱根プリンスホテル (現 ザ・プリンス箱根) 箱根樹木園 (現 箱根九頭龍の森)お休み処

県西支部 松井 正

学部1年生の冬休みに帰省していた私は学校の課題の公園設計を奮闘している最中、ふいに父親から誘われて箱根プリンスホテルを見に行く事になった。

当時ル・コルビュジェやルイス・カーンのような巨匠に陶酔していて、名前くらいしか知らなかった村野藤吾の建築を見に行くよりは締切真近の課題を進めたいと思っていた私だが、このホテルのロビーに入った瞬間、しばらくの間立ちすくんでしまうほどの衝撃を覚えた。

父親と建築を見に行ったのは海外は別にして国内では後にも先にもその時だけであるが、写真で眺める事よりも実際に建築を見て、五感で感じる事の重要性を学んだ気がする。

それ以降、幾度となく友人達と訪れたり県西支部の研修旅行で村野藤吾を巡るツアーを企画したり等でこのホテルを訪れる度に新たな魅力を発見できる文学的な作品であると思っている。

まずこの建築を説明するにあたり配置計画の絶妙さが挙げられる。

エントランス棟、円形の2つの客室棟、ロビー棟、国際会議場棟の4つのブロックが地形に合わせて散りばめられたような分散型になっていて絶妙なシークエンスで接続され、開口の切り方も自然をより重厚に美しく見せる位置に設けられている。

このような状況の中でもパブリックゾーンとサービスゾーンは非常に明確に分離されており、例えばお客は受付で荷物を預け、ラウンジではお客が荷物を引きずるシーンを見せずに、サービス動線を使って部屋に荷物を運ぶ事ができる。この事によりこの建築の背骨であるラウ



ンジの非日常性や崇高性を高めるのに貢献する作用も兼ねている。

もう一つこの建築が私を大いに魅了するのは

図と地の関係、表と裏の関係が非常に曖昧に捉えられている事である。例えば普段は裏方として扱われる目地に光を当てていて、目地を仕上材と同面で納めるどころか逆に勢いよく盛り上げて、新たな仕上げにおける演出の仕方を提示している。

また外部と内部をインド砂岩等で仕上げる事で、外部と室内の領域を曖昧にして芝生張りの湖方向に傾斜した庭も大きな室内空間に感じられるくらいのダイナミックな融合が図られている。



建築データ

建築面積：5988㎡

延床面積：14058㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

階数：地下2階、地上2階建

箱根樹木園お休み処は箱根プリンスホテルより7年前の1971年に完成した建築である。地面から生え出たように建つこの建築はコンクリー



トスラブの上に鉄骨下地を入れた二重構造の上に茅葺という構成で、どこことなく今年の8月号の建築探訪で取り上げた一夜亭の屋根の造り方の源をも連想させる。

この建築の最大の特徴はロビー、食事室、貴賓室の3つの正円の中央部分に三角形のサービス部門である厨房が計画されている。

本来、平面の中央に存在しないはずのサービス部門の厨房をあえて置くのは、ここでも箱根プリンスと同様の図と地、表と裏の曖昧さを意図した狙いが読み取れる。また村野と同時代を生きていた白井晟一の自邸では、便所を室の中央に計画している事の接点も非常に興味深く感じる。



村野建築の中では箱根樹木園お休み処は小さい建築であるが、だからこそ他の作品以上により密度が凝縮されており、木々の中にそっと置かれたような珠玉の建築だと思う。

最後に二つの建築を見て私は村野藤吾のプロポーションとスケール感の良さに改めて畏敬の念を抱いた。

それは茶室であったり海外の様々な様式をも超越した力量を持ち合わせた村野独特の嗅覚がなせる技ではないかと今回の探訪で感じた。

建築データ

建築面積：715㎡

延床面積：711㎡

構造：鉄筋コンクリート造

階数：地下1階、地上1階建



表紙のことは

まだ梅雨の明けていない6月後半にこの二つの建築を広報情報委員の稲葉氏と訪れ、運よくその日だけ太陽が顔を出し恵まれた状態の中での見学となりました。

箱根にそぐわない箱モノの建築が最近蔓延る中で、未来に伝えていきたい建築の一つではないかと改めて思いました。

注意：箱根樹木園お休み処は内覧不可でございます。

今我々にできることは・・・。

横浜市における地震被害

横浜支部 内田 勝康

2011年3月11日午後2時46分ごろ宮城県北部で震度7の地震。(M8.8) 30分後茨城県鉾田で震度6弱 (M7.4) 地震。13日に気象庁は、M9.0に修正。

テレビでは、横浜市市役所近い11階建てのRCビルの外壁が落下する様子が放映された。横浜スタジアムの照明塔がねじれて揺さぶられているのも同時に放映された。早速、翌12日の朝から市内の被害状況を調査した。

横浜市役所に近い11階建てビルの4階から6階の外壁に被害が発生し、2次壁の鉄筋が露出していた。また、西側の最上階は隣棟建物と衝突して外壁が損傷が発生していた。裏側には、被害は見られなかった。上階に居た人の話では、生きた心地がしなかったとのこと。また外で見ていた人は、東側のビルと衝突するのではないかと思っていたという。(写真1, 2)

横浜スタジアムの照明塔は、鉄骨丸柱3本の構造であるが、目視で見ると限り座屈現象は見られなかった。

臨港パークの護岸が一部破損しており一部沈下したと思われる。中央卸売市場の護岸や、臨港地区からの陸橋道路にひび割れが発生していた。(写真3, 4)

横浜駅ハマボールの天井落下が報道されているが、隣接する道路のタイルが剥がれていた。その他、中華街付近のホテルの外壁損傷や中区間門の鉄骨3階ビルに被害が発生した。

これらの被害建物を図にプロットすると直線状のある巾の中にあることが分かる。(図1)

池部町のビル崩壊は西側の直線状にあり、小机町の液状化が発生した場所は東側になる。

このことから今後の教訓として何が考えられるだろうか。この範囲の地域は、地震動で大きく揺れているので学校の体育館の照明器具の取り付けを調査することが必要だろう。現在、伊豆半島東側で群発地震が発生しており(7/20現在) 大きな地震が発生すると長周期地震動が発生する。鉄骨造建物については、再度調査して今後に備えるべきであろう。

3



写真1 11階RCビル



写真2 隣棟ビルと衝突



写真3 臨港パークの被害



写真4 中央卸売市場の護岸被害



図1 地震動の大きな地域

写真はいずれも3/12撮影

今我々にできることは・・・。

「気仙沼の今」

横浜支部 金子 泰夫

このたびの東北地方太平洋沖地震、その他相次ぐ地震でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

気仙沼と陸前高田に入ったのは6月6日でした。TVの報道で観てはいるが、実際にこの目で診て、臭いとホコリまみれになり、蠅を追い払い、被災した街を走ると想像していたそれと違っていた。

津波の力で粉々になった家、土台から外れひっくりかえった家、川や、海に浮かんで漂う家、飴の様に曲がった鉄骨の建物、4階まで津波に被ったRCの建物、田畑に打ち上げられた瓦礫や車両、市街地まで流された大型漁船、街の様子がメチャメチャでした。自分はボランティアが被災した家に入り床下の泥出しや、家財の撤去をする前に家屋の安全確認と被害調査が主な業務であった。53km内陸にある一関から気仙沼へ毎日往復をした2週間であった。

見えて来た事は、津波には木造は無抵抗だと言う事、軽量鉄骨は抵抗するも曲がって容が変わってしまい、RCは原型を維持されるが中身がグチャグチャになる。驚いたのは土蔵造りの倉である、あちこちに母屋の失った倉だけがポツンと残されていた。津波に抵抗出来るのは重量なのでしょうか？上屋を失った土台と基礎がそれらの家のその時代の構造技術レベル見本市の様に残されていた。



今回の震災は巨大な地震ではあったが、揺れの周期が長周期の様で気仙沼や大島でも家屋の倒壊などは見られず、軽微なもので瓦が落ちる程度で、ほとんどが津波による被害の様であった。

忘れてならないのは今回の地震で建物を破壊する被害が出ていたら東北内陸部、関東北部など更に多くの家屋の倒壊、災害で多くの被災者が出ていたと言えます。私達建築設計に携わる者はこの事を踏まえ、将来必ず起きる巨大地震災害に備え耐震、制震、免震等のさらなる技術の向上と意識改革が必要ではないかと思えます。

会員建築作品紹介



「平塚市諏訪町会館」

横須賀支部 玉田 正人

神事協・県木連の協働事業である「住・緑・家」第1号物件の町内会館です。

1年以上の打合わせ後に着工し、今年3月に竣工。6月には「住・緑・家」運営特別委員会にて見学会を行っていただきました。

今回、会館を設計するにあたり、国庫補助事業の神奈川県森林整備加速化林業再生事業補助金を利用することができました。建物の使用木材は国産材が100%で、このうち神奈川県産材を50%以上使用することで補助金が受けられるため、構造材はもちろん、室内と床には県産ヒノキの圧密フローリング、壁には無節のヒノキ合板、天井には杉板張り、内部建具もヒノキ材で製作してもらい、全て県産材を使用した各部屋ですがいやみなくシンプルに仕上がったと思います。

思いおこせば、当会館建設委員のメンバー20数名との打合わせ！外観は模型で合意を得る事はできましたが、内装仕上げについてはなかなかイメージが伝わらず苦労したことを思い出します。本来、外装に杉板を使用したのですが、予算上使

用出来ませんでした。

3月の竣工パーティーには、神奈川県担当職員をはじめ平塚市職員幹部の方々、市議会の先生、県木連の会長、我々の上原会長などにご出席いただき、木の香りにつつまれた会館で100名を超える町内の方々と共に完成を喜びました。完成後、会館は毎日空きがない程の利用率で旧会館ではなかった事だと町会長からお話をいただき嬉しい限りです。

最後に、施工していただいた黒沢建設様、建設委員会の皆様、本当にありがとうございました。



シリーズ・グローバル化の世界をめざして

神奈川県バリアフリーアドバイザー
県西支部 芝 京子

建築概要

建築主	社会福祉法人箱根町社会福祉協議会	
設計・監理	株式会社アーキテクトホンダ	
施工	株式会社石井工務店	
敷地面積	16718.68㎡	
構造	鉄筋コンクリート造	
規模・規模	地上3階 地下1階	
主要用途	老人デイサービス	
床面積	既存面積	5211.930㎡
	申請部分	2133.009㎡



地下ピロティと主要用途の1F部分

神奈川県では、平成16年より公共施設など不特定多数が利用する既存施設に、一級建築士である「バリアフリーアドバイザー」を無料で派遣し、調査に基づいて助言・バリアフリー化改修方法の提案・概算費用の見積・簡易図面の作成等を行う事業を(社)かながわ・住まい・まちづくり協会(まち協)に委託してバリアフリー化を支援しております。

アドバイザーは県知事より委嘱を受けた41名(神事協会員は15~16名)の一級建築士と、車椅子使用当事者のアドバイザー1名の42名です。平成22年までの実績は、62施設、福祉・教育・商業・集会それぞれの施設、公園等多種多様の施設があり、私達アドバイザーにとっても良い経験になります。

今回携わらせていただきました、旧箱根湯本中学校は昭和63年に建設され、平成20年3月に廃校となりましたが、建物自体は新耐震基準に適合しているため、箱根町より建物を借受け、社会福祉法人箱根町社会福祉協議会が通所介護施設として用途変更し、デイサービス事業を展開するという計画です。資金の一部として(財)日本財団の補助制度を利用した事業でもありました。

用途変更の難しさ

- 敷地既存建物の規模から箱根町開発事業指導要綱の適用道路認定(昭和63年以前の写真を見つけ、クリア)緑地の確保
既存排水経路の調査と、計画雨水流出と処理
- 関連法規
敷地に複類棟⇒ 消防法・建築基準法
排煙設備 ⇒ 建築基準法⇒施工費のup
敷地内通路 正面から玄関まで 点字ブロック94m⇒神奈川県福祉のまちづくり条例⇒人的サービスでクリア
地下ピロティ(駐車場) ⇒ 面積制限のため使用不可能

特に排煙設備は新設です。教室のサッシ開口部欄間を利用して、カバー工法で処理し、設備費(空調・浴室・キッチン・WC)等コストバランスが相当高いことは福祉施設としていた仕方がないと思いますが、全体工事費を大分圧迫しておりました。

既存の特殊教室を食堂に、保健室(64㎡)を浴室・洗濯室に、職員室を(社)箱根町社会福祉協議会とデイサービス事業事務所に、用務員室は居室へとそれぞれ改修し、玄関中央にあった生徒用靴箱を撤去したため玄関ロビーは広々とゆったりした空間になりました。

ゆたかな予算などありえないこの様な設計においては、他の何よりも知恵と工夫が勝負です。今、利用者の笑顔を見ると、設計中の迷いや悩みがうそのように思われ、アドバイザーとしてアドバイス・設計・監理と業務を遂行させていただいたことに心から感謝いたします。

また、最後になりましたが、施工者株式会社石井工務店の皆様方ありがとうございました。



新しく導入した口腔ケアサービスコーナー



●大和市障害者自立支援センター

第13回
大和市街づくり賞

毎月コンサート、イベントで地域住民との交流をもつ障害者訓練施設。cafeフラットを常設。オリジナルケーキとおいしいコーヒーでおもてなしいたします。
大和市鶴間1-19-3 TEL:046-265-5198 休:日祝 駐車場有



シンボルツリー:
ハナミズキ



ナツツバキ



街並み散策

大和市
(有)相原聡建築設計
(有)荒谷建築設計
による大和



●大和スポーツセンター
カフェテリア～みなみ風～
平成17年度日事連建築賞
奨励賞
第12回大和市街づくり賞



大和スポーツセンター内にあるカフェテリア みなみ風はスポーツセンター利用者以外でもOK。
グラウンドが競技者の視線で見渡せるロイヤルシートのようです。特に11時半から14時半までの日替わりランチが500円でコーヒーもついて、しかもおかわり一杯可というから驚きです。デザートもあって、クリームぜんざいは350円で、ソフトクリームは9種類の中から選ぶことができます。ソフトクリームの量もたっぷり、下にしいてあるぜんざいと一緒口に運べばまさに至福のひとつとき。
大和市上草柳1-1-1 TEL:046-261-6212 休:月曜 駐車場有

女性だけでも、気軽に入れるお店です。落ち着いた雰囲気の中でBGMはJAZZ。2階は静かなテーブル席が16席の大和では珍しいお洒落な串焼き屋です。新鮮な食材を備長炭でじっくり焼き上げた串焼きは人気です。大和駅より徒歩1分。
大和市大和東1-3-6
TEL:046-263-7212 休:日祝

●串焼き処「鳥こまち」



～食べて、飲んで、
髪を整えて、
楽しんで

大和市街づくり

シンボルツリー：
やまぼうし



大和駅周辺
設計事務所(意匠設計)
設計事務所(構造設計)
の街づくり



●ホンダプレミアムヘア
インターナショナル
(社)日本建築士事務所協会
第29回全国大会建築作品表彰
奨励賞
第11回大和市街づくり賞



大和が誇る世界的ヘアデザイナー本田誠一氏のヘアサロン。
創業50年の老舗です。吹抜けのフロア、曲面の天井、モザイク
タイルの装飾やシンボルツリーなど、癒しをテーマに落ち着いた、
くつろぎの空間で皆様をお待ちしています。
大和市上草柳2-1-15 TEL:046-263-3855 休:火曜 駐車場有

8

●(株)ガスターショールーム「ガスタジオWings」
第15回大和市街づくり賞



大和の老舗工場給湯器のメーカー「ガスター」
のショールームです。
毎日、関連会社の見学会でにぎわっています。
正門脇でファサードが笑顔でお待ちしています。
ミストサウナ体験ルームがあります。
大和市深見台3-4

シンボルツリー：
さくら



お花見して
大和のぶらり散策～

写真撮影: 輿水進 (作成: 大和綾瀬支部 相原聰)

東京都文京区小石川五丁目19「銅御殿」

横浜支部 佐藤 光良

東日本大震災の翌日、3月12日土曜日昼前にこの建物を訪れた。見学会に予約していた為である。勿論もしかしたら地震のため見学会は中止かなとは予想はしていた。しかし、耐震がテーマの一つであり建てられた建物に損傷が無い事を願いつつ、無事な姿を見てみたいことが訪れた大きな理由であった。地下鉄丸の内線の茗荷谷駅を下車し、「タモリのTOKYO坂道美学入門」に取り上げられ最高得点を付けられた湯立坂に向かった。駅から坂道を下っていくと、5分もしないうちに右側に特徴ある表門が見えてきた。2005年国の重要文化財に指定された「銅（あかがね）御殿」の正門である。

見学会中止の張り紙は無い為、ブザーを鳴らしてみたが反応は無く、何処から入るか分からず敷地周囲を一回りしてみた。するとこの建物際（約1m）にN不動産が分譲販売するマンションの工事が建設中であった。14階建ての規模で銅御殿の後ろに聳え立っているととても違和感を抱いた建物だった。近隣住民からはとても激しい建設反対運動があったと聞いたが、N不動産は聞く耳を持たず、H21年4月に強行着工してしまったとの事。重要文化財はその所有者のものではなく、文化財として国と地域の歴史的共有財産だと思う。よしんば近隣の敷地に建設するにしても、開発者はその歴史的背景と文化財としての価値を斟酌して考えるべきと言うのは言過ぎだろうか。現実には、一部に工事が原因と思われ



る損傷が発生したと聞いた。

さてこの御殿であるが、千葉の山林王だった磯野敬が東京の別荘として造り、7年の歳月を掛け大正元年に竣工した。21歳でこの設計施工を請け負った北見米造は高村光雲の弟子で、この建物はかつて「彫刻家の作った家」と呼ばれていた。銅御殿と称されたのは、今は緑青色になった屋根と外壁の一部に銅を使用してピカピカだったためである。施主の要求は次の3点「寺院風」「耐震」「耐火」。金に糸目をつけず、木曾ヒノキは一山を買いその中の気に入った木材を製材。引き戸の鏡板は屋久杉の一枚板。今では見ることが出来ないほどの太さの御蔵島の桑の木。貴重品であったガラスはベルギー製。建具の組子は名人と呼ばれる職人13名の傑作。組子の設計は北見本人との事。表門の楠の板戸が又素晴らしく10年経った今その存在感が輝いている。作庭は宮内庁御用達名人の吉野竹次郎。技術、建材、仕上と施工の全てに最高の水準を求め竣工されたこの建物は、関東大震災・東日本大震災に耐え、空襲からも被害を受けず、現在大谷美術館の管理で維持されている。

見学は期日が指定されており、往復はがきで下記に申し込む事

で見学可能。

〒114-0024 北区西ヶ原1-27-39

旧古河庭園内銅御殿係

TEL. 03-3910-8440

社団法人 神奈川県建築士事務所協会 平成23年合同役員・委員会 議事録

日 時 平成23年7月14日(木)
15:30~17:00
会 場 神奈川建設会館 2階講堂
出席者 役員・各委員会より72名
進 行 総財務委員長 根岸 光司

1 会長挨拶

新たな役員・委員の皆様の顔合わせや、横の繋がりを築いていただきたいという思いがあり、年度初めの早い時期での合同役員・委員会の開催となりました。

2年間の役員・委員の任期の間、公益法人制度改革・会員増強という2つの大きな課題があります。全会

上げて取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

当会では現在、阪急交通社とのタイアップ企画である横浜地区の建築物見学ツアーが進行中です。そして今後については、9月に神事協主催「みらいふれあいフェスティバル2011」が開催され、また東日本大震災の被災地である福島県への支援を目的としたバスツアーも計画中です。

ぜひ、皆様のご協力とご参加をお願いいたします。

2 出席者紹介

(1)名誉会長・参与紹介

(2)役員・委員長紹介

(3)支部長紹介

(4)委員紹介

※(1)から(3)まで、根岸総財務委員長により紹介。(4)については、各委員会委員長により紹介。

3 議題

(1)みらいふれあいフェスティバル2011について
配布資料により、白井実行委員会委員長がフェア開催の経緯、趣旨、現在の進行状況などを説明。

各担当部会長より企画や進行状況についての報告。

(2)東北支援バスツアーのご案内

芝副会長より、義援金活動に次ぐ新たな支援活動として、東日本大震災により中止となった全国大会福島大会の日程に合わせて東北支援バスツアーを企画していることを報告。

(3)WEBサイトリニューアルのご提案

佐藤広報情報委員長より説明。会員の利便性の向上のためにホームページのリニューアルを検討中であり、理事会承認を経て、11月頃までにリニューアルを行いたいと報告。

4 その他

(1)社団法人神奈川県建築士事務所協会改正定款(素案)に対する意見募集について

(2)その他

・ブロック支部委員への委任状提出について
のお願い

※詳細はホームページにてご確認ください。

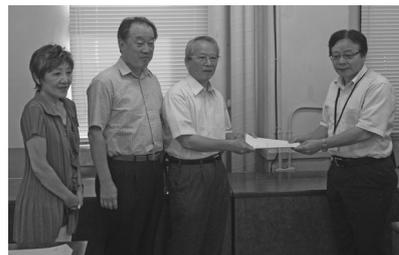


行政レポート

「建築CPD情報提供制度」の活用を県らに要望

神奈川県建築士事務所協会、建築士会、JIA神奈川の三会の会長らで、神奈川県及び政令市(横浜市、川崎市、相模原市)の自治体に対し、平成23年7月12、13日及び19日に、建築士等の自己研鑽等の実績を支援・促進する制度である「建築CPD情報提供制度」について、建築設計及び工事監理業務の受注者選定に際し評価項目として加えるよう、特段の配慮を求める要望を行いました。

各自治体からは、自治体により発注形態が様々であることから、要望事項に対しどのような活用が可能なのかなど、研究・検討したいとの回答がありました。



阪急交通社との提携ツアー実施報告

会長 上原 伸一

先般、会員の皆様方におかれましては、6月号の会報誌への同封にてお知らせをいたしました。一般消費者に対し、神事協および『建築士』について発信・アピールすることの一環として旅行会社である阪急交通社『時遊人』の協力のもと、神事協との提携ツアー商品の企画が実現し、このたび催行されました。

旅と建築（建築物）のつながりをテーマとする中で、今回の内容は関内駅周辺の歴史的建造物を見てまわるというものです。普段よく訪れる場所ではありますが、ひとつひとつの建物をじっくりと見る機会はありません。新たな発見があったと感動されるお



客様も多くいらっしゃいました。

当ツアーは3名以上の集客で催行が確定されます。6月・7月と2ヶ月間の中で出発日の設定が8回ありましたが、そのうち4回が催行され、他のツアーに比べ催行率も比較的高く一般消費者の興味を引く内容であったかと思えます。毎回旅行社にて実施しているツアー終了後のアンケートにおいても、多くのお客様より『大変満足』との評価をいただきました。

現在、旅行社側へは他のコースの企画提案を行っております。実施されました際は、引き続き皆様方のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

建築Q&A

「JWWCADでの操作方法」 vol.1

11

Q：JWWCADでの操作方法で、配置図における道路斜線をチェックする場合に、道路反対側の線から垂直の線を引く方法は？

A：線を引くコマンドを選択の後、図-1の線分AB付近でマウスの右ボタンを押し、押したまま上方に動かすと線分ABの垂直線を引く設定になります。

続いて、測定したい点（例：1の点）を右クリックしてください。画面下部のステータスバーに線の長さが表示されますので、長さに1.25又は1.5を掛ければその点の許容高さが出ます。

又、さらに戻るボタン（或いはESCキー）で一つ前に戻り、2の点で右クリック、同

操作で3の点で右クリックしていけば、何点でも道路反対側の線からの水平距離が測定できます。

天空率での適合建物の配置図作成時には大いに役に立ちます。

この方法は、線分、円からのその他機能がいりいろ有りますので、是非試してみてください。

尚、図-2の立面、断面図等では、C点で右クリックし、傾きの中に「//（ダブルスラッシュ）1.25」を入力すると1：1.25の斜線が引けます。ちなみに、図-3で、4寸5分の屋根勾配は「//0.45」でダイレクトに引くことができます。逆勾配は「-//0.45」とします。

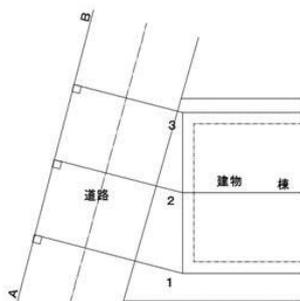


図-1

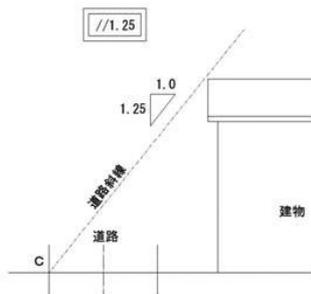


図-2

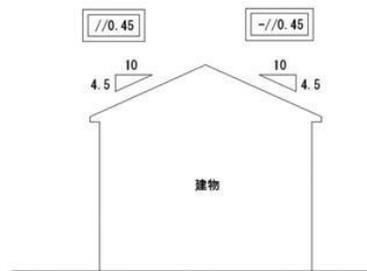


図-3

（作成：木造特別委員会）

神事協主催

みらいふれあいフェスティバル2011 開催

実行委員長 白井 勇

平成23年9月9日（金）～10日（土）の2日間、桜木町にある日本丸メモリアルパークおよび日本丸訓練センターにて「防災への備えは？」をテーマに『みらいふれあいフェスティバル2011』を開催致します。

当日は設計監理指導委員会主催『調査鑑定研修会』の実施や、各委員会および賛助会による各種セミナー及び屋外ブースでの展示PR、またステージ等での各種イベントなど盛り沢山の内容にて開催する予定です。

今回のイベントを通じて、神奈川県内の建築

技術者相互の情報交換及び交流、そしてセミナーや新技術等についての講習会開催により、建築技術者の資質の向上を図ります。さらに、一般県民と建築関係者との交流のなかで、防災について建築の視点から知り、考え、行動に移す機会をつくっていきたくと考えています。

現在、各委員会および賛助会からなる合同実行委員会を立ち上げ、準備を行っております。

開催にあたり、会員の皆様方のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

委員会活動報告

設計監理指導委員会

「机の隅に講習会」 開催について

委員長 増田 務

このたび、設計監理指導委員会では「机の隅に」と題した建築実務ガイドブックを作成致しました。そして、この「机の隅に」を用いた講習会を去る6月1日の横浜会場を皮切りに各ブロックにて開催しております。

この本は日常の業務を行う上での基本的かつ重要な知識や情報をまとめた内容となっています。日頃は忘れかけている「建築関連の民法」「消費者契約法」、設計・監理の紛争に関する「判例」、「建築基準法・関連諸法令等」、「契約」に関する基本知識などの構成になっております。

今後の業務にも大いに役立つ内容となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

◇今後の開催日程◇

- ・9月30日（金）川崎市総合自治会館（最寄り：武蔵小杉駅）
- ・10月3日（月）ラクアル・オダサガ（小田急相模原駅前）
- ※ご案内は会報KANAGAWA9月号に同封する予定です。
- ※6月の横浜会場での様子をみていただく映像（ビデオ）講習会となります。

新入会員の紹介

入会されました会員のかたがたのプロフィールを紹介致します。

設問の内容

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ①故郷又は出身地はどこですか？ | ④神事協やあなたの支部に期待していることは？ |
| ②得意とする業務の分野は？ | ⑤あなたにとって、21世紀はどんな時代ですか？ |
| ③神奈川県内か、あなたの支部の地域の印象的な建物は？ | ⑥「モッタイナイ!」と思ってしまうことは？ |
| | ⑦あなたの血液型は？ |

川崎支部

有限会社 アトリエ アイズ
今井 博康
(23年6月入会)



- ①神奈川県川崎市
- ②商業建築・店舗内装、住宅
- ③横浜開港記念館
- ④建築士業界の発展。社会的理解の拡大。
- ⑤ものすごく「リアル」かつ「見えない」時代
- ⑥時間が早く過ぎること。
被災地の瓦礫・人の命（言葉が合っているか分からないけど）
- ⑦A

鎌倉支部

建築再生工房 株式会社 タケウチ
平澤 賢一
(23年6月入会)



- ①神奈川県横浜市
- ②意匠設計
- ③雨の「県立近代美術館（鎌倉館）」
- ④共存共栄
- ⑤「夢」の存在を確認する時代
- ⑥ちゃんと造らない行為
- ⑦A+型

? 旅のクイズ 第13回 ? ? ?

問題

今度の震災では水が売れたようです。震災では水が断たれました。炉心への注水の断絶です。油断（日本への石油の遮断）により太平洋戦争が始まりました。「油断は大敵」ですが「水断」は恐怖です。安心な水道水の恐怖も沸き起こり、水の輸入も増加しました。

そこで問題です。京都市内のお寺の境内を水路が引かれています。この寺院名を宛ててください。

ヒント：明治の頃、京都市へ琵琶湖からの水路が建設されました。

※「水断」：水が断たれるという意味でクイズのための造語です。



レンガ造の水路を支えるアーチ



水路を流れ豊富な水



寺院の三門

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。(FAX: 045-212-3807 E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成23年8月19日（金）当選者は9月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

前回（7月号）の正解は下記の通りです。

正解：千葉県木更津市にある「中の島大橋」

正解者：ケイエムプロジェクト（賛助会）金子正彦様

会員異動報告	
入会	
横浜支部	
(株)内田建築設計事務所 〒232-0057 横浜市南区若宮町3-44 TEL045-741-8660 FAX045-710-1157	内田 勝康
(有)大西工務店一級建築士事務所 〒236-0046 横浜市金沢区釜利谷西5-18-12 TEL045-785-0226 FAX045-785-0226	大西 正行
鎌倉支部	
ソーケンホーム(株) 〒248-0022 鎌倉市常盤648-4 TEL0467-32-7227 FAX0467-32-7268	小畑 秀雄
海老名支部	
野坂建築造型事務所 〒243-0402 海老名市柏ヶ谷701-1 かしわ台クラルテ620 TEL046-234-6670 FAX046-234-6670	野坂 安正
退会	
横浜支部	
スウェーデンハウス(株)横浜支店一級建築士事務所	曾根 康弘
(株)ケーテック一級建築士事務所	羽根 平典
大和システム(株)横浜支店一級建築士事務所	大出 康雄
川崎支部	
(有)杉野繁樹建築設計事務所	杉野 繁樹
湘南三浦支部	
加藤一級建築士事務所	加藤 清
厚木支部	
一級建築士事務所 武田建築設計事務所	武田 貞夫
総建設計	鈴木 忠
変更	
横浜支部	
協和エステート(株)一級建築士事務所(西地区) (事務所名変更) 協和エステート(株)横浜支店一級建築士事務所 (所在地変更) 〒231-0016 横浜市中区真砂町4-43 木下ビル	
権設計企画工房(株)(西地区) (所在地変更) 〒220-0071 横浜市西区浅間台12-2	
菱重エステート(株)一級建築士事務所(中地区) (事務所名変更) 菱重エステート(株)横浜一級建築士事務所 (TEL変更) TEL045-621-9066	
(株)大谷屋建築士事務所(港南地区) (TEL変更) TEL045-831-9230	
(株)ハマツウウェイ一級建築士事務所(港北地区) (会員名変更) 小沼 泰男 (TEL・FAX変更) TEL045-433-4647 FAX045-432-9265	
(有)青野建築設計事務所(戸塚・栄地区) (FAX変更) FAX045-681-4222	
小山建築測量事務所(戸塚・栄地区) (所在地変更) 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町2810-5	
茅ヶ崎寒川支部	
大利建築二級建築士事務所 (事務所名変更) (株)大利建築二級建築士事務所	
賛助会員異動報告	
入会	
三和シャッター工業(株)西関東営業部 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル4F TEL.045-478-0037 FAX.045-473-3447 【代表者】近藤 正仁 【担当】白戸 敏 【業種】シャッター、鋼製建具、修理・設計施工等	

報国エンジニアリング(株)神奈川営業所 〒251-0054 藤沢市朝日町9-4 TEL.0466-54-7481 FAX.0466-54-7482 【代表者】松田 憲明 【担当】磯田 林生 【業種】地盤調査、地盤改良工事、特殊工事	
退会	
(株)ヨコソー ダントー(株)横浜営業所	

会 勢 平成23年7月15日現在					
支部名	平成23年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	273	7	4	3
川 崎	91	93	5	3	2
横 須 賀	55	53	0	2	-2
湘南三浦	21	19	0	2	-2
藤 沢	22	22	0	0	0
鎌 倉	32	33	2	1	1
茅ヶ崎寒川	16	17	1	0	1
平 塚	21	21	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	18	18	0	0	0
大和綾瀬	22	20	0	2	-2
厚 木	37	36	1	2	-1
座 間	13	13	0	0	0
海 老 名	13	14	1	0	1
愛 川	9	8	0	1	-1
相模原	88	86	1	3	-2
県 西	49	45	0	4	-4
合 計	785	779	18	24	-6
賛助会員	68	73	9	4	5

8月の行事予定	
8月1日	公益法人制度改革対応専門委員会 みらいふれあいフェスティバル実行委員会
2日	広報情報委員会
3日	設計監理指導委員会
4日	総財務委員会 「住・緑・家」運営特別委員会
11日	正副会長会 理事会
18日	技術調査委員会
19日	企画業務委員会
22日	景観まちづくり特別委員会
23日	ブロック支部委員会
24日	木造特別委員会 JW-CAD日影及び天空率研修会1日目(会場:県立東部総合職業技術校)
26日	みらいふれあいフェスティバル実行委員会 賛助会事業計画検討会
31日	JW-CAD日影及び天空率研修会2日目(会場:県立東部総合職業技術校)

編集後記 東日本大震災から早5ヶ月。雪の季節から猛暑の夏に移り変わり、時の流れるのが早いと感じつつも、これから何十年とかかる震災復興。この新たなまちづくりはTVでもトップニュースで流れ続け、これからのまちづくりに係っていく子供たちにとっては身近な関心事なのではと思っています。今年の6月から小学校3年生の総合学習の景観教育に携わっており、一緒にまち歩きをして、自分たちのまちの魅力や改善点を見つけ、将来、自分たちのまちをどのようにしたいかという課題を投げかけています。話を聞いてみると以外にエコ(緑化)、リサイクルに対する意識は高く、この後、防災に関して問題意識を持せ、最終目標として「歴史・文化を継承する安全なまち」を模型製作により表現しようと思っています。広報情報委員2期目、引き続き広報KANAGAWAをよろしく願います。(横須賀支部 小泉 厚)

かながわ 平成23年8月号(通号358号)

発行 平成23年8月1日(毎月1日発行)
 発行人 上原 伸一
 発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
 第3不二ビル2F
 TEL. 045-228-0755
 FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

・ 担 当 副 会 長 小林 忠志
 ・ 広 報 情 報 委 員 長 佐藤 光良
 ・ 広 報 情 報 副 委 員 長 吉田 宣郎 川島 良夫
 ・ 広 報 情 報 委 員 稲葉 勉 遠藤 世一
 ・ 恩田 耕爾 小泉 厚
 ・ 後藤かをり 杉崎 雅治
 ・ 竹尾 秀一 新倉 良一
 ・ 野口 友弘
 事 務 局

みらいふれあい フェスティバル 2011

まちづくり 家づくり 防災への備えは？

2011年9月9日[金] > 10日[土]

10:00>17:00 10:00>16:00

日本丸メモリアルパーク・日本丸訓練センター

主催 / 社団法人神奈川県建築士事務所協会

耐震・免震・地盤液状化・太陽光発電 自然ときちんと向き合うことから未来へ。



東日本大震災の教訓から防災に対する備えが一層求められている今、(社)神奈川県建築士事務所協会では「防災への備えは？」をテーマに、これからのまちづくりや家づくりを考える「みらいふれあいフェスティバル 2011」を開催します。

建築の視点で捉えた家づくりやまちづくり。

今デザイン性に優れた家は、未来を創造する上では付加価値に過ぎない。

大切な人や物や環境を守り未来へつなげていくこと。

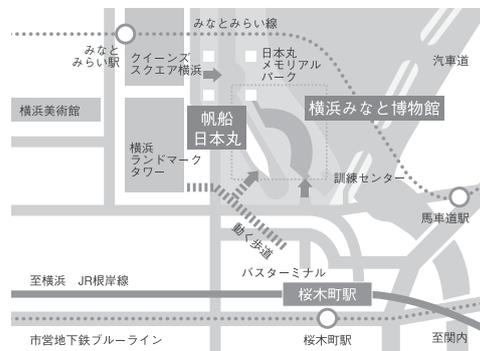
本当に必要なことは何かをテーマに各ブースでは専門知識を結集してさまざまな提案をしています。

また日本丸訓練センターではセミナーも開催。

ご家族連れで楽しんでいただけるように

ライブをはじめとしたパフォーマンスをご覧ください。

当日は是非みなとみらい日本丸メモリアルパークへお越しください。



みらいふれあい フェスティバル 2011

テーマ : まちづくり 家づくり 防災への備えは？

期間 : 2011年9月9日(金)10:00~17:00・9月10日(土)10:00~16:00の2日間

会場 : 日本丸メモリアルパークおよび日本丸訓練センター

所在地 / 横浜市西区みなとみらい2-1-1

主催 : 社団法人 神奈川県建築士事務所協会

後援 : 国土交通省 神奈川県 (社)日本建築士事務所協会連合会
横浜市 川崎市 秦野市 小田原市 南足柄市 平塚市 座間市 伊勢原市 他

*帆船日本丸と横浜みなと博物館は毎週土曜日は小・中・高校生は入場無料です。



展示・相談会

- 各建築設計団体によるブース展示(パネル、作品、模型等の展示)
- 建築材料メーカー等による商品等の展示及び技術紹介
- 無料相談(耐震、建築、コンペ、リフォーム)
- 県産木材を利用した木造軸組工法によるモデル施工展示・木造伝統工法の継手の紹介(実物展示)
- 消防車



セミナー

- 各セミナーの実施(耐震・免震・制振・シックハウス、木造伝統工法の紹介、コンペ、耐震改修、地盤等)



イベント

- 各種体験コーナー
- ステージ上のコンサート
- 大道芸

社団法人 神奈川県建築士事務所協会

神奈川県建築士事務所協会は、建築設計/工事監理等の業務の進捗改善と建築士事務所の健全な発展並びにその業務の適性な運営及び設計等を委託する建築主の利益の保護を図り、公共の福祉の増進に寄与することを目的とした社団法人です。平成21年1月に建築士法第27条の2に規定する法人として法定化され法定団体として建築士事務所業務の適正化と建築主等の利益保護を図ることを目的とした役割、責任を担っております。

所在地 / 〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2階 TEL / 045-228-0755 FAX / 045-212-3807 設立 / 1976年(昭和51年)11月8日社団法人設立